

(様式2)

令和5年度 久留米市立合川小学校地域学校協議会プラン

1 学校の課題

提言① 家庭学習習慣の定着・強化のために、「家庭学習がんばり週間」を設定したり、地域ボランティアを活用して放課後学習会を行ったりする。
提言② メディアの使用時間を適切にするために、「スローメディア週間」を設定したり、読書活動の充実を図ったりする。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組(3者協働の場合)

具体的な取組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	○「家庭学習の手引き」を配布し、適切な家庭学習の時間・量・質を提示し、自ら学習を進めることができるようにする。 ○「家庭学習がんばり週間」を設定する。 ○学習ボランティアによる放課後学習の場を設定する。	○学校から配付された家庭学習の手引きをもとに家庭学習の内容や目的について周知し、子ども達への声かけや賞賛を行う。 ○「家庭学習がんばりカード」等で家族のコメントによる評価を行う。	○地域懇談会等で学力の保障と向上について課題解決を図る必要性を多くの地域の方や中学校の保護者に知って頂けるような広報をする。 ○放課後学習への地域ボランティアの募集や派遣を行う。
提言②	○「合川スタンダード」(合川小のきまり)の周知徹底のために懇談会で内容を保護者に説明する。 ○「家庭学習がんばり週間」に合わせて、スローメディアの取組を行う。 ○表現力を高め、創造力を豊かなものにするために朝の活動を読書の時間とする。	○テレビを消すなど、家庭で学習する環境を整える。 ○中学校定期考査期間を活用したスローメディア期間における家族団らんの時間をつくる。 ○スローメディア期間の家族団らんの時間として、読み聞かせや親子での読書活動等に取り組む。	/

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

3 児童生徒の成長

〈年度初め〉	〈年度末〉
① 10分間×学年+10分の家庭学習を行う子どもの割合:67.2%	① 10分間×学年+10分の家庭学習を行う子どもの割合:70%
② 平日のメディア使用時間が2時間以下の割合:55%	② 平日のメディア使用時間が2時間以下の割合:60%